

『感謝の人生』 ～ありがとうの力～【ルカ 17:11～19】

「母の日」の起源は亡き母の働きを娘が教会の中で感謝した所から始まっています。そこから教会では母に日頃の感謝を表す事の素晴らしさが受け継がれてきました。教会の素晴らしさは何でしょうか。それは感謝し合えるところです。夫婦が感謝をしながら子育てをすると子供が非行に走らないというデータもあります。感謝をする事による恩恵がどれほどあるか注目していきたいと思えます。今回の聖書箇所は 10 人のツァアラトに犯された人たちが癒しを受けた所です。その当時ツァアラトは感染対策も含め、周囲から隔離され、人としての尊厳がなくなった存在でした。しかし彼らは遠くからでもイエス様に癒しを求め叫んでいました。この求める姿は見習うべきです。イエス様は病気の癒しの証明として祭司に見せるように言いました。彼らはまだ癒されていない状況で出発しました。向かっている道の途中で全員が癒されました。しかしイエス様の元に感謝を捧げにきたのは 1 人のサマリア人だけでした。サマリア人は救われないと差別されていた民族であったにも関わらず感謝しに戻ってきました。このように私たちも日常生活の中でどれほど感謝をしているのでしょうか。感謝を妨げる要因としていくつか例をあげます。①プライド②ご利益主義③受身④当たり前...その他などです。挙げた中で自分の弱さが見えていますか。教会に来ているのは感謝を学び、感謝をし合うためとも言えます。今の生活に対して、不足を感じているのでしょうか。それとも感謝を感じるのでしょうか。では私たちは何に感謝をすることが望ましいのでしょうか？①**あなた(私)の存在です。**自分のがどれほど素晴らしく創造されているかを理解していますか。悪いところばかりに目を向けるのではなく、自分の良さを理解し、神様に感謝をしていくことが大切です。そのことで父母の存在にも感謝が出来るのです。②**過去の全てに感謝できますか。**過去を振り返った時、どのような思いや感情が湧くのでしょうか。苦しさ、辛さ、虚しさでしょうか。それは今でも繰り返していないのでしょうか。その部分はイエス様に悔い改め、過去を感謝に変えて再出発していきましょう。③**将来に先取りの感謝!**自分の将来に対して!「～になる事を感謝します」と先取りの感謝をしていますか。将来に対して感謝にあふれているのでしょうか。日々の生活に追われていると感謝ができません。感謝ができないと、過去の自分に戻ってしまいます。星野富弘さんは不慮の事故により体の自由を失いました。しかしその絶望の中にも口を用いて神様の働きが出来ると感謝を見出したときにすべてが変わりました。神様はそのように感謝できる目が開かれる人生になってほしいと願っています。今日あなたはきっと自分に与えられている感謝に気付けるはずですよ。